



おおみなみ



令和 8 年度
練馬区立大泉南小学校
校長 皆川 伸一
令和 8 年 9 月 30 日
TEL03-3922-1371

『つどう・つながる・つむぐ』

雨の日が続いても

大泉南小学校 校長 皆川 伸一

はじめに、先日の台風 25 号をはじめとする相次ぐ大雨により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。連休中ということもあり、予定の変更を余儀なくされたり、交通手段の乱れにご苦労された方も多かったこととお察しします。

9 月に入り、学校の周りでもキンモクセイの香りがふわっと漂い始め、秋の訪れを感じ始めたのも束の間、その後はまさに「雨、雨、雨」の日々が続いています。

「それにしても、今年はいつも以上に太陽を見ていない気がする……」

気になって 8 月から 9 月 30 日現在までの東京の天気を調べてみました。すると 8 月の降水量は平年の約 2 倍。9 月に入るとその勢いは増し、9 月上旬にはなんと 9 日連続で太陽が顔を出さないという記録的な日照不足となりました。9 月は平年の 3 倍近くの異例な長雨となっています。

また最近、ニュースで「例年より早くインフルエンザが流行しており、この長雨が拍車をかけている」と耳にしました。太陽が照らないことによる日照不足や急激な寒暖差が人の免疫力を低下させ、さらに室内で過ごす時間が長くなることで気分が沈みがちになったり、換気が不十分な密な空間になりやすかったりと、ウイルスが広がりやすい条件がいくつも重なっているそうです。

登下校の安全についても、雨の日は一層注意が必要です。雨の日は雨除けのフードなどで自転車の人の視界も狭まり、ブレーキも効きにくくなります。子どもたちが友達と仲良く並んで歩いていて、ふと車道側へと少し膨らんでしまった瞬間——背後から近付く車やバイクには全く気づくことができません。この「見えにくさ」と「無警戒」が重なる瞬間こそが最も危険だと、身をもって実感しています。暗い雨の中でもはっきりと見えるカラフルな傘が、どれほど子どもたちの存在をアピールし、守ってくれているかを痛感します。

長い雨が続き、外遊びが中止になり、さぞや意気消沈しているだろうと、学校の中に目を向けると、室内での過ごし方は実にたくましく、活気に満ちています。

雨の日の校内は賑やかで、廊下まで弾むような笑い声や楽しそうな声が届いてきます。担任の先生を囲んで楽しそうにお喋りをしたり、オセロや UNO、読書に没頭したり。校長室には折り紙で作った時計や工作を見せに来てくれたり、委員会のお知らせや新聞の記事にすると行ってインタビューに訪問してくれたりします。腕相撲や押し相撲、指をそろえて「いっせーのっ、せ。」で盛り上がっている姿も見かけました。

もちろん、怪我につながるような危険な大騒ぎはいけませんが、こうした教室にあふれる笑顔と笑い声は、長雨による心の憂さを吹き飛ばしてくれます。心身の抵抗力を高め、病気を寄せ付けない一番の「予防薬」になっているのではないかと感じずにはいられません。

遠足や社会科見学、移動教室と、秋の行事シーズンが本格化します。天気予報のマークに一喜一憂する日々は続きますが、雨の日も晴れの日も、子どもたちが安全に、そして笑顔で心豊かに過ごせるよう温かく見守っていきたいと思います。